

イラクに対する戦争と占領の5年で

アメリカの平和運動組織「平和と正義をめざして団結しよう会=United for Peace & Justice」が2月7日、3月19日首都ワシントンはじめ全国で展開する大衆的非暴力直接行動の具体的指針を公表した。3月19日ブッシュの「shock and awe=衝撃と畏怖」作戦で襲撃開始の日。満5年を迎えるのだ。

この5年間のイラクでの戦争と占領の代償は、と、次の5項目にまとめている。

- ①イラク人の死傷者は65万人～100万人。避難民400万人。アメリカ将兵の死者約4000人、負傷者4万人以上。この間、アメリカの大企業は莫大な利益を得る。
- ②死と破壊に1兆2000億ドルを費やすかわら、国内では何百万の無保険者が医療にかかれず、公共設備の老廃化、住宅ローン危機の増大、失業率の上昇、メキシコ湾岸復興の遅滞。
- ③企業の強欲を保護しつつ、自然環境の濫用。北極・南極海・グリーンランドの氷の融解。現地の人民と文化の破壊。異常気象。このすべてが石油中毒に起因。
- ④拷問、不法監視、スパイ活動、市民的自由の浸食。議会も司法も適切なチェックとバランスの機能をなくした犯罪的政権。弾劾条項のある憲法が関係性を奪われ無視されている。
- ⑤今やイランに対して攻撃を脅し、アフガニスタンでは軍事作戦をエスカレートさせている。大量破壊兵器を国内で正当化しながら、外国については虚偽の申し立てをする。

そして、「これが今我々が生きている時代。今が我々が応答すべき時。我々は沈黙しない。3月19日、首都ワシントンでの非暴力行動と市民的不服従に参加を！」と呼びかけている。

日本では、3月20日、東京で、京都など各地で、同様の行動が企画されている。

反戦イラク帰還兵の会の反戦の理由

IRAQ VETERANS AGAINST THE WAR (略称 IVAW) の HP に詳しく書かれているのだが、要約して紹介しよう。論拠は10項目からなる。

- ① イラク戦争はウソと欺瞞にもとづいている。
- ② イラク戦争は国際法に違反している。
- ③ 企業利益がイラクで戦争を発動している。
- ④ 圧倒されるほどの人数でイラク人が犠牲になるのが、日常茶飯事になっている。
- ⑤ 兵士には不法な戦争を拒絶する権利がある。
- ⑥ 政府の怠慢で、兵士は健康上の深刻な事態に直面している。(PTSDをふくめて)
- ⑦ イラクでの戦争は私たちの家族を引き裂いている。
- ⑧ イラク戦争は国内で痛切に必要とされる資金を国民から奪っている。
- ⑨ 軍隊は人種主義と差別を道具に使っている。
- ⑩ 近年、若者は、全容を語らない新兵募集の攻勢的な展開に直面している。

IVAW がイラクからの即時撤退を求める理由

- ① 侵略の理由と論拠は詐欺的であった。
- ② アメリカの軍力は、イラクの宗派間の暴力を防止できないでいる。
- ③ 暴力的行動や宗教的過激主義を地球的規模で生起させる第1の動因は、占領という事態なのだ。
- ④ この戦争を続行するだけの財政のゆとりはない。
- ⑤ 国内の安全が危うくされている。
- ⑥ 世界がいつそう危険をはらむに至っている。
- ⑦ 国としての「道徳的権威」が弱体化している。
- ⑧ アメリカ市民、イラク市民、アメリカ軍の多数派がイラクでの戦争の即時終結を求めている。
- ⑨ 軍隊が制度的に崩壊している。